

港南区内の広域的な課題 バス問題

第17期の「環境・街づくり分科会」の皆で話し合い、今後の区民協議会への課題として、区内のバス問題を考えました。

港南区マスタ - プランでも、区民の足として、バス路線の整備見直しが提案されています。

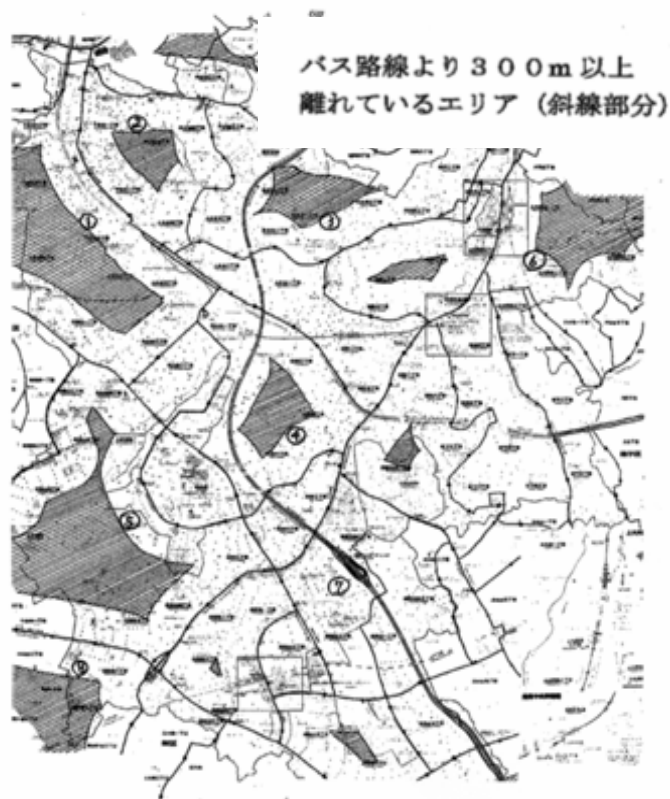
港南区内には「横浜市営」「神奈川中央交通」「江ノ電バス」「京急バス」と4社のバスが走っています。

しかし、右図の様にバス路線から、遠くはなれ、「駅まで15分構想」との横浜市施策にも 該当しない人が居られます。何故でしょうか？

規制緩和へ向けて動いている今日、まだまだ事業者間の権益調整がなされないままに、利用者の日常生活に密着した利便性に配慮したバス路線の見直し検討が行われていないのです。

この地図の上には、表れてこない 例えばバス路線周辺ではあるが、バスの間隔が長い、朝夕は全く走っていない、朝夕だけで日中は走っていない路線とか、色々と問題を抱えている地域は沢山ありますが、これらの課題は地域それぞれに異なっています。

この様な、広域的な問題について、地域の皆さんと一緒に行政や事業者を交えて、現況の問題点について話し合いをし、解決へ向けた努力をしていきたいと思えます。



- 下永谷3, 4, 5丁目の一部と上永谷6丁目の一部
- 芹が谷5丁目の一部
- 東永谷1, 3丁目と大久保3丁目の一部
- 日野4, 6丁目の一部
- 上永谷4000番地の一部と野庭町2000番地の一部
- 上大岡駅東側、上大岡1, 2丁目の一部
- 日野インタ - 付近
- 日野南7丁目と隣接する栄区の一部地域

この様な地域の問題点を 皆さんと共に 話し合いをしてまいります。

今迄、区民会議発足以来34年間には、皆さんとの話し合いの中から、広域的な課題として「上大岡駅周辺放置自転車対策とチョイ置き可能な駐輪場設置」や、世代を超えた「港南台中央公園のプレ - パ - ク」等の課題を地域の皆さんと話し合い、実現へ向けた努力を重ねてきました。

昨年秋の区民会議交流会で、中田市長から「大都市制度について市民の間で、大いに議論をして欲しい」と提案もありました。360万人横浜市では一人の市長、一つの議会の下に市の施策運営が行われています。各区には公選による区長も議会もありません。

港南区の人口は22万人ですが、各区分権化は唱えられているものの、同じ22万人の大和市や厚木市の様に独立した区政運営は取れません。

多様化した市民生活・活動の中で、区民の人達と日頃の各地域活動について情報交換を行ない、これらを区内全体へ広め、実現へ向ける活動を目指して、市民の間の連携「つなぐ」をテ - マにして、活動を心掛けて行きたいと思えます。